

# 校内研究計画

山梨市立日下部小学校

## 1 学校課題

- (1) 児童は、明るく素直で、物事に一生懸命取り組む子が多い。多様な生活環境、価値観、学力観の中で、2極分化の影響が児童にも及んでいることは否めない。家庭の教育力が、児童の基本的な生活習慣、学力に及ぼす影響は大きい。
- (2) 大規模校であるため、迫力ある集団活動が組織できるといった利点はあるが、反面児童一人一人に学力を保証するためのきめ細かい指導に費やす時間と労力は大きい。
- (3) 学級の中での学び合いや、集団活動を通して自他を認め合う力は育ってきているが、個人差も激しく特別に支援を必要とする児童も多い。(学級力の育成)
- (4) 授業において「言語活動」を取り入れることで、授業のめあてに適した活動が設定できるようになった。また、その結果、児童の思考が整理され、授業のめあてに迫る反応も多くみられるようになった。しかし、その力を他の教科や活動に生かせるまでに至っていない。(活用力の育成)

## 2 研究主題 「確かな学力」を育てる学習活動の研究

副主題 ～「学級力」を高める指導の工夫～

## 3 主題設定の理由

本校では、昨年度まで「意図した言語活動でつなぐ学習指導の工夫」をテーマに2年間研究を続けてきた。授業の目標・目的に合致した「意図した言語活動」を仕組むことで授業の中で児童自身が学ぶ場が生まれ、目標に迫る反応も多く見られるようになった。また、研究教科を英語科や体育科に広げることで教育活動全般においても有用であることが確認できた。また、学習活動を支える重要な要素として「学級力」に着目し、学び合い、相互に高め合う活動を授業に取り入れることでさらに学ぶ力が高まることを狙う授業研究も行われた。しかし、学級力がどのように学力向上に寄与するのか、さらに言えば「学級力」とは、どのような力を指すのかについては職員の間で十分な共通理解が得られなかったのも事実である。

校内研究の命題は、「どんな子どもたちを育てていくのか」ということである。本校では「やさしい心をもった子ども」、「笑顔があふれる子ども」、「学びたい、学ぼうという姿勢に満ちた子ども」、「自分から進んでコミュニケーションをとろうとする子ども」を育てていきたいと考える。そのためには、しっかりと安全な学級を作っていくことが大切であり、そのような学級を作っていくためには「学級力」を高めていくことが必要であると考え。そこで今年度は、確かな学力の土台となる「学級力」を重点的に取り上げ、「学級力」についての分析・理論研究を行い、「学級力」とは何なのかについてしっかりと共通理解をし、「学級力」を高めるにはどのような指導の工夫がよいのかということについて研究を進めていきたい。そのことが子どもたちの「確かな学力」を育てることにつながっていくと考える。

## 4 研究仮説

- ・学級活動の時間及び各教科を中心に、「学級力」を高めることにより、子どもたち同士の学び合いが今まで以上に高まるだろう。
- ・学級活動の時間に、「学級力ミーティング」を行い、その方法を工夫することにより、学級力が高まるだろう。

## 5 研究の具体的内容と方法

- (1) 理論研究や実践研究
- (2) 授業研究
- (3) 一人一実践の公開授業
- (4) 特別支援教育および今日的教育課題関連の学習会

## 6 年間研修計画

研究主任

廣瀬 剛

回	月日	校内研究の内容	形態	指導主事	教協研究
1	4/9	研究主題・研究仮説・研究内容	全		
2	4/16	研究主題・研究仮説・研究内容	全		
3	4/23	研究計画の確認・組織づくり	全・ブ		
	5/7				東山梨教協研究集会・教育研究①
4	5/14	「学級力」に関する理論研究	全	○	
	5/21				教育研究②
	6/4				教育研究③
5	6/11	授業研究（廣瀬剛）4-2 「学級力ミーティング」	全	○	
	6/18				北中ブロック体育大会
6	6/25	ブロックごとの研究	ブ		
7	7/2	各クラスの取り組み経過報告会	全		
	7/30				教育講演会・北中ブロック交流会①
	8/4				教育研究④
8	8/20	特別支援教育に関する講演会	全		
	8/29				統一授業研究・教育研究⑤
9	9/3	ブロックごとの研究	ブ		
10	9/10	ブロックごとの研究	ブ		
11	9/17	ブロックごとの研究	ブ		
	10/1				秋季教研・教育研究⑥
12	10/15	授業案検討（低）	全		
13	10/22	ブロックごとの研究	ブ		
14	10/29	授業研究（低学年ブロック）	全	○	
15	11/5	ブロックごとの研究	ブ		
	11/12				北中ブロック交流会②（北中参観）
16	11/19	授業案検討（高）	全		
	11/26				教育研究⑦
17	12/3	授業研究（高学年ブロック）	全	○	
	1/14				教育研究⑧
	1/21				北中ブロック交流③（岩手・後屋敷小参観）
18	1/28	各クラスの取り組み経過報告会	全		
	2/4				統一授業研究・教育研究⑨
	2/18				冬季教研・教育研究⑩
19	2/25	校内研究のまとめ	全		
20	3/4	紀要の印刷・製本作業	全		

※上記以外にも適時、必要に応じてブロック研究日や学習日を設定する。

※一人一実践についても、別途計画を作成し、実施していく。（7月～12月）